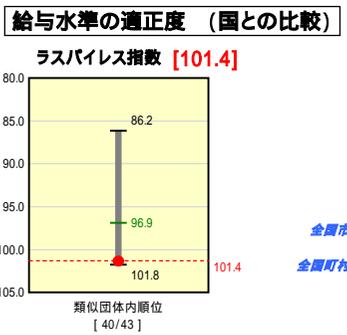
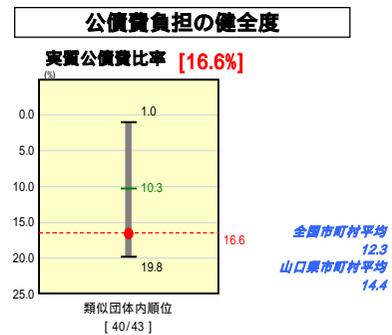
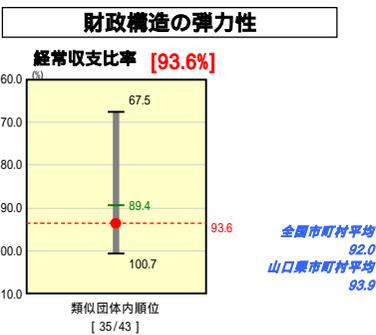
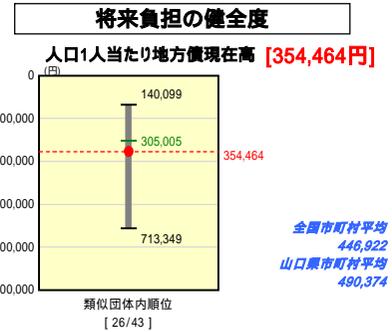
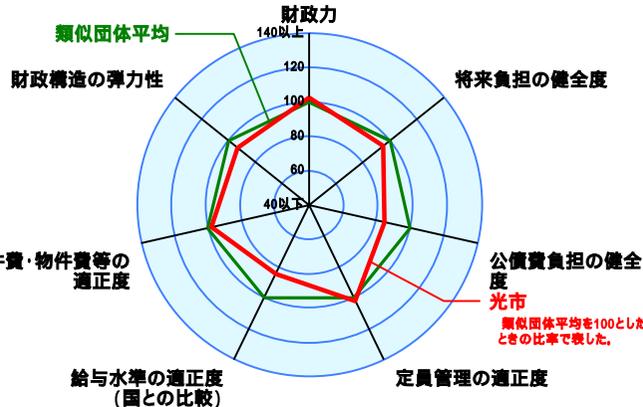
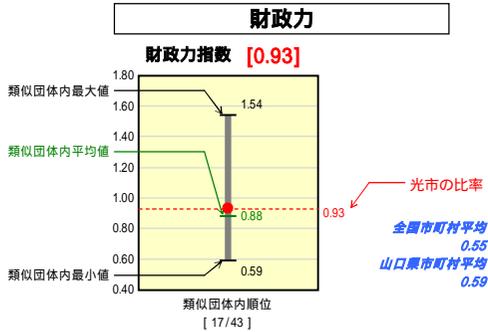


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

山口県 光市

人口	54,730	人(H20.3.31現在)
面積	91.94	km ²
歳入総額	22,117,686	千円
歳出総額	21,163,671	千円
歳入総額	899,517	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスパイレズ指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年度地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

人員費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人員費には事業費支弁人員費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数: 税源移譲の影響による市税の増収などから、前年度に比べ0.09ポイント上昇し、類似団体の平均を0.05ポイント上回った。今後も、財政基盤強化のため、市税等の収納率向上など自主財源の確保に努める。

経常収支比率: 退職手当の増や公営企業への繰出金の増などにより、前年度に対し7.0ポイント上昇し、類似団体の平均を4.2ポイント上回ることとなった。引き続き、徹底した歳出削減などの行財政改革に取り組み、

人口1人当たり人員費・物件費等決算額: 類似団体の平均をわずかに上回っている。今後とも、各種手当等の見直しによる人員費の削減や、経常的経費の枠配分の実施等により内部事務経費のさらなる削減に努める。

ラスパイレズ指数: 前年度より3.1ポイント上昇し、類似団体平均・全国市平均を上回っている。今後とも、各種手当の見直しや給与・運用・水準の適正化に努める。

人口1人当たり地方債現在高: 昨年度に比べ人口1人当たり18,916円減少しているものの、類似団体の平均を上回っている。借入額が償還額を下回っているため市債残高は着実に減少を続けているが、今後も事業の厳選などにより市債発行の抑制に努める。

実質公債費比率: 算定方法の変更により数値が大幅に改善されたが、類似団体の平均を上回っている。今後とも、市債発行の抑制などにより改善を図ることとする。

人口1,000人当たり職員数: 前年度に比べ0.03ポイントの上昇となったが、類似団体平均を下回っている。定員適正化計画の目標である'5年間で1.0% (4.4人) の削減、については、すでに4.2人を削減し、達成目前となっている。引き続き、効果的な職員配置や組織の合理化を進める。